干潟を起点に環境と産業の調和を目指す
～“シンボル”ドリブン型好循環の形成～

佐賀県鹿島市　・　株式会社佐賀銀行

はじめに

-Episode Zero- 「肥前鹿島干潟が“宝物”に生まれ変わった瞬間」

2022年9月、佐賀県では、待望の西九州新幹線が開通しました。

一方、遡ること38年前・・・
1984年に発表された佐賀県の総合計画で私たちの愛する『鹿島』には、新幹線が通らないことが明らかになりました。

そこで、青年会議所を中心とする地元の有志が集まり地域のまちおこしイベントを企画。

翌1985年、今では国内外から数万人が集まる名物イベントとなった「第１回鹿島ガタリンピック」が開催されました。

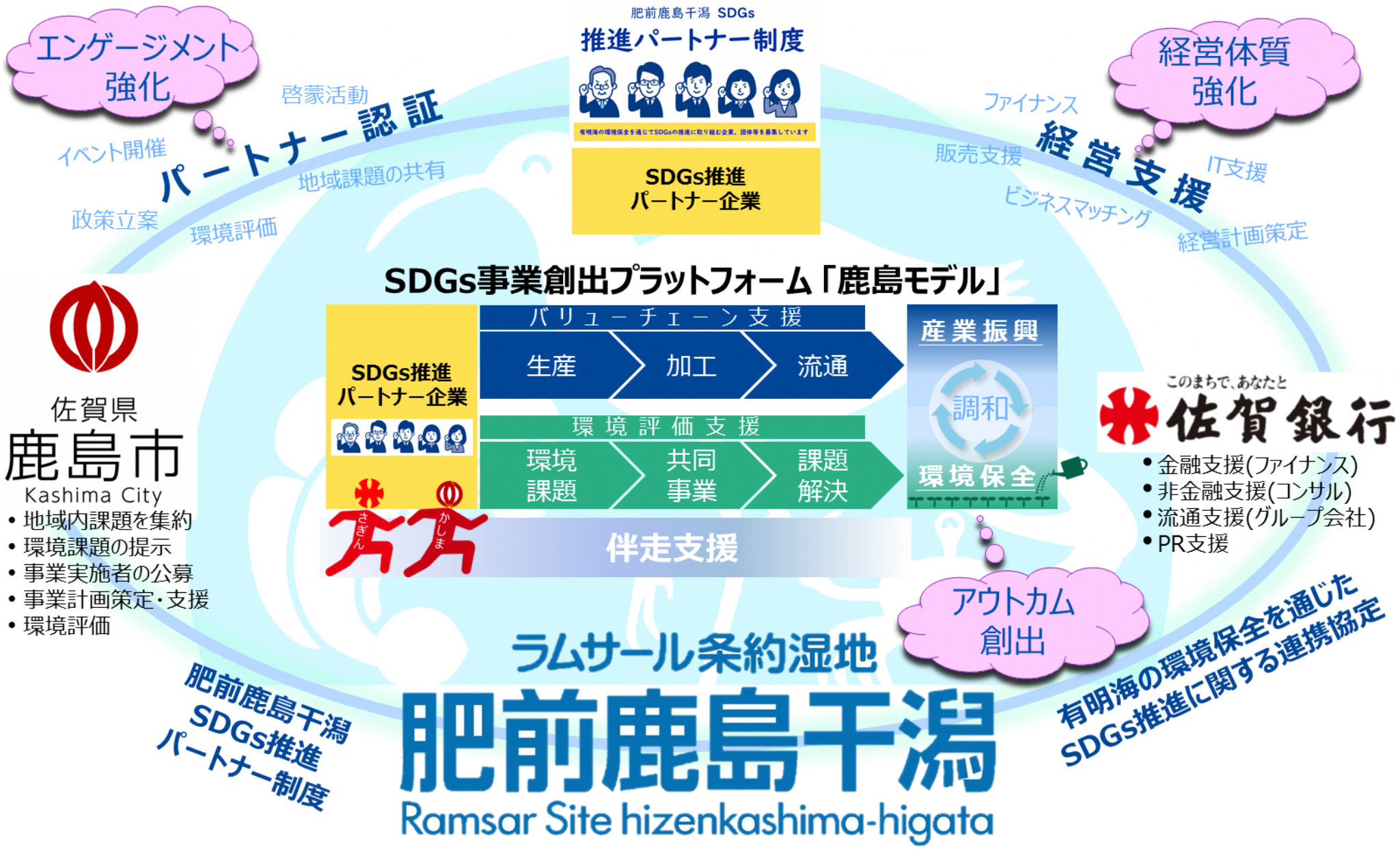
誰も見向きもしなかった干潟が、地域の貴重な財産に生まれ変わった瞬間です。

それから30年が経ち、2015年に肥前鹿島干潟はラムサール条約湿地に登録され、私たちはこの場所を次世代のために守ることを決意しました。

環境、社会、経済、さまざまな問題を解決し、乗り越えていくためにこのまちのシンボルである干潟を起点に産業を回す仕組みをつくりました。

私たちは、「肥前鹿島干潟SDGsパートナー推進制度」を通じて、地域住民、事業者、金融機関、地方自治体が一体となって「協働」していくことを目指しています。

制度の全体像


エンゲージメント強化
啓蒙活動
パートナー認証
イベント開催
地域課題の共有
政策立案
環境評価
肥前鹿島干潟 SDGs
推進パートナー制度
有明海の環境保全を通じてSDGsの推進に取り組む企業、団体等を募集しています
SDGs推進
パートナー企業
経営体質強化
ファイナンス
経営支援
販売支援
IT支援
ビジネスマッチング
経営計画策定
SDGs事業創出プラットフォーム「鹿島モデル」
SDGs推進
パートナー企業
バリューチェーン支援
生産
加工
流通
環境評価支援
環境課題
共同事業
課題解決
産業振興
調和
環境保全
さぎぎん
かしま
伴走支援
佐賀県
鹿島市
Kashima City
• 地域内課題を集約
• 環境課題の提示
• 事業実施者の公募
• 事業計画策定・支援
• 環境評価
このまちで、あなたと
佐賀銀行
• 金融支援(ファイナンス)
• 非金融支援(コンサル)
• 流通支援(グループ会社)
• PR支援
アウトカム創出
ラムサール条約湿地
肥前鹿島干潟
Ramsar Site hizenkashima-higata
肥前鹿島干潟SDGs推進パートナー制度
有明海の環境保全を通じたSDGs推進に関する連携協定

肥前鹿島干潟SDGs推進パートナー制度について

鹿島市発！環境と産業をまわす仕組みづくり　SDGs事業創出プラットフォーム『鹿島モデル』

要件

1. 肥前鹿島干潟を中心とした有明海の環境保全活動につながる取り組みをしていること
2. 地域課題の解決に向けた取組みなどSDGsのさらなる推進に取組む意欲があること
3. 目指しているSDGsのゴールが明確であること

登録すると・・・

- 肥前鹿島干潟SDGs推進パートナー登録証を交付
- 鹿島市HPや市報などで取組み内容を紹介
- SDGsの推進に関する各種情報を提供

ココ重要！　なぜ事業者が自発的にSDGsに取り組むのか？

・中小機構のアンケート※によれば、「SDGsの取組みに向けた課題」の上位は、

①何から取り組めばよいかわからない
②取り組むことによるメリットがわからない
③SDGsや取組みに関する情報が少ない

▪▪▪▪▶ こうした悩みに対して鹿島市は・・・

「ローカルSDGsの制度設計を、まちのシンボルである“肥前鹿島干潟を中心とした有明海の環境保全”に特化しよう！」

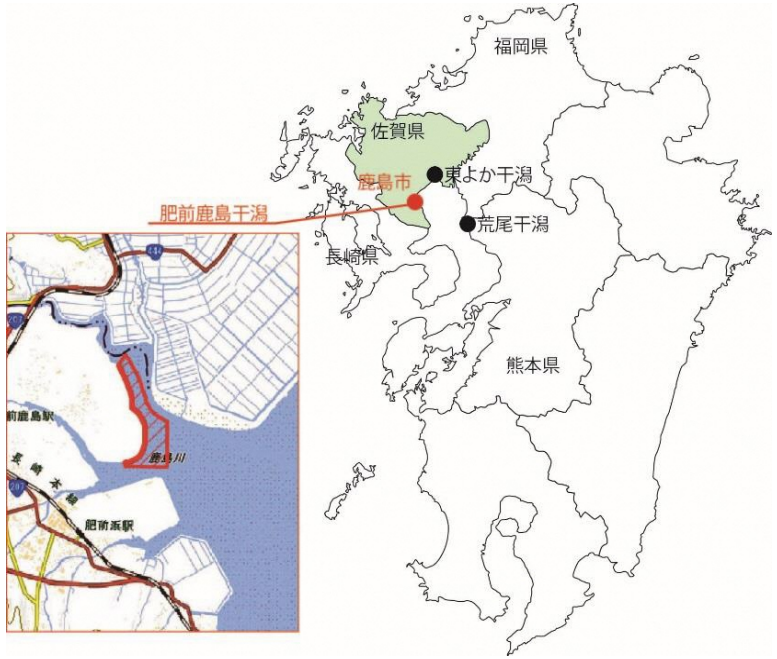
事業者の声
「身近な有明海の環境につながることから始めればいいんだ」
「目的がハッキリしてわかりやすいし、従業員にも伝えやすい」

※中小企業基盤整備機構が2022年1月に実施した「中小企業のSDGs推進に関する実態調査(n=1586)」より

佐賀県鹿島市の概要

佐賀県
鹿島市
Kashima City

- 佐賀県の西南部に位置し、東には有明海が広がり、西は多良岳山系に囲まれた豊かな自然に恵まれた都市
- 平成27年 有明海沿岸の一部がラムサール条約湿地に登録
- 平成28年より環境省の地域循環共生圏に取り組み、環境と産業の調和のための事業を推進している
- 人口：27,914人（令和4年12月31日現在）



鹿島市発！環境と産業をまわす仕組みづくり

SDGs事業創出プラットフォーム『鹿島モデル』

課題発見フェーズ　実行フェーズ　理想の姿

課題発見
社会課題
環境課題

課題提示

事業者公募
事業計画

策定支援

環境評価
- 鹿島の持続可能性を高めうる指標で環境評価
- 有明海とその流域に焦点をあてた環境評価実施

事業化支援
- 環境と産業に好影響を与える事業創造を支援
- メディアとの広報面での連携
- 地域金融機関からの金融支援（非金融含む）

実行支援

理想の姿
環境改善
産業振興

評価項目に基づく説明

Point! 他地域への横展開のしやすさ

汎用性
（モデル性）

本事業は、地域のシンボルでもある「干潟」が起点となりSDGsの取組みへの訴求効果を高めた。

右図のとおり、ラムサール条約登録湿地は日本全国に50ヶ所ある。その他にも世界遺産や国立公園など、魅力的な自然資本がその都市のシンボルとなっている事例は多数存在しており、「昔からわがまちにあるものを未来に遺したい」という想いはそこに住む人々の共通の願いである。

そうした“まちのシンボル”を起点にSDGsの推進機運を高めるという点において他地域での展開が十分可能なモデルケースとなり得る。

Point! トップの積極的な関与

官民協働による
実効性

トップの積極的関与による
持続性

本事業を推進するために重要な役割を果たしたのが「有明海の環境保全を通じたSDGs推進に関する連携協定」である。

官民の連携協定は少なくないが、当方では実効性を高めるために定期的な情報連絡会を開催している。
その中で鹿島市と佐賀銀行の共通課題を共有しあうことで同じ方向を向いて推進していくことができている。

また、鹿島市長や佐賀銀行のトップ自ら現場へ足を運び、庁内、行内でも事例の共有が適時適切におこなわれることで持続的な取組みにつながるとともに新たな好事例を生み出している。

日本のラムサール条約湿地

50ヶ所

※環境省ＷＥＢサイト「ラムサール条約と条約湿地」より作成

「伴走支援」 事例のご紹介 ―「荒廃園における放牧牛の販売」―

鹿島市が抱える課題①耕作放棄地の拡大、②農業従事者の減少及び高齢化に対して事業者様が実施する「黒毛和牛の周年放牧事業」の伴走支援をおこないました。

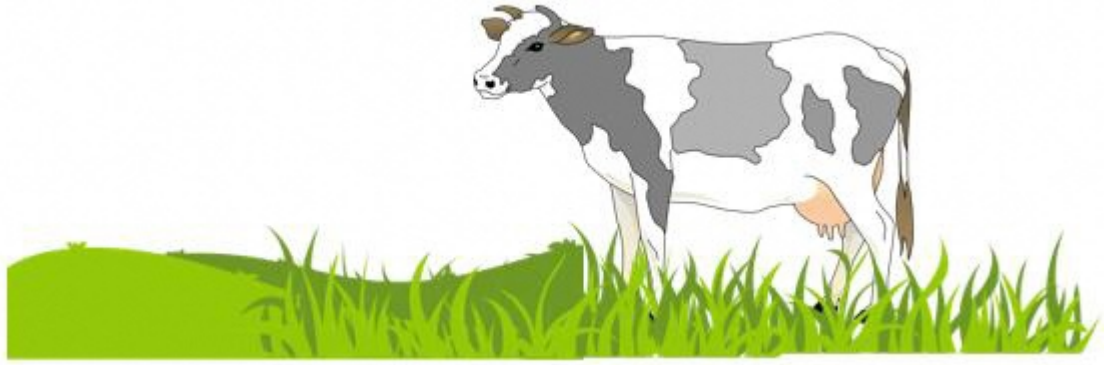
01 サプライヤー	02 生産者	03 加工業者	04 物流業者	05 販売業者
お悩みゴト 飼料が高騰したなぁ・・・	お悩みゴト 生産効率を高めたい	お悩みゴト 大分でしか加工できない	お悩みゴト どこで保管すればいいんだろう	お悩みゴト 販売先を広げたい・・・
調達	生産	加工	保管	販売
パートナー事業者から酒粕やみかん粕やワラが供給できそうです！	ＩＣＴ技術の導入で効率的な生産ができるかもしれません！	当行のお客さまが加工してくれるかもしれません。掛け合ってみます！	当行のお客さまの冷凍倉庫に空きスペースがあるようです！	当行グループ地域商社の販売ネットワークを活用しましょう！
地域内のエコフィードの提供	大学との共同研究がスタート	地域内での加工が実現し、大幅にリードタイムを削減	地元の業者が保有する施設で冷凍保管が可能に	新たな販路を創出

鹿島市の伴走支援 ―― バトンタッチ ―― 佐賀銀行の伴走支援

「伴走支援」 事例のご紹介 ―「荒廃園における放牧牛の販売」―

環境へのインパクト

『鹿島市の課題』	『黒毛和牛の周年放牧事業』
○耕作放棄地の拡大に対し・・・	牛の力(蹄耕法)を用いた耕作放棄地の再生
○輸入飼料の高騰に対し・・・	粗飼料による飼料コスト削減
○イノシシ被害対策として・・・	棲家（巣）の解消
○景観・イメージ	草地が広がる里山景観の保全



まとめ

今後も、地域住民、事業者、金融機関、地方自治体が一体となり、たくさんの好事例を生み出して『自律的好循環ドミノ』を起こすべく、地域内外に情報を発信してまいります。

ご清聴ありがとうございました